

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	アセタミプリド-d ₆
製品コード	99052793
整理番号	Q8-13-1
供給者の会社名称	林 純薬工業株式会社
住所	大阪府大阪市中央区平野町3丁目2番12号
担当部門	マーケティング・商品開発部 商品企画グループ
電話番号	06-6910-7290
緊急連絡電話番号	06-6910-7290
FAX番号	06-6910-7340
URL	http://www.hpc-j.co.jp
E-mail	mpd@hpc-j.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
健康有害性	急性毒性(経口) 区分3 急性毒性(経皮) 区分外 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分外 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分外 皮膚感作性 区分外 生殖細胞変異原性 区分外 発がん性 区分外 生殖毒性 区分外 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(神経系) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(肝臓 甲状腺)
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分3 水生環境有害性(長期間) 区分3 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H301 飲み込むと有毒
H370 神経系の障害
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、甲状腺の障害のおそれ
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き
安全対策

取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
環境への放出を避けること。(P273)

- 応急措置** 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。(P308+P311)
 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)
 特別な処置が必要である。(P321)
 口をすすぐこと。(P330)
- 保管** 施錠して保管すること。(P405)
- 廃棄** 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質
 化学名又は一般名 トランス-N-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-N'-シアノ-N-メチルアセトアミジン-d₆

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
アセタミプリド-d ₆	100%	C ₁₀ D ₆ H ₅ ClN ₄			

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

毒物及び劇物取締法 劇物(指定令第2条) トランス-N-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-N'-シアノ-N-メチルアセトアミジン(別名アセタミプリド)及びこれを含有する製剤。ただし、トランス-N-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-N'-シアノ-N-メチルアセトアミジン2%以下を含有するものを除く。

4. 応急措置

- 吸入した場合** 空気の新鮮な場所に移し、安楽に待機させ、窮屈な衣服部分を緩めてやる。
 医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合** 汚染した衣服、靴、靴下を脱がせ遠ざける。接触した身体部位を水と石鹸で洗うこと。
 医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合** 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼する。
 医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合** 直ちに多量の水を飲ませる。
 口をすすぐこと。
 医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

- 消火剤** 粉末消火薬剤、二酸化炭素、泡消火薬剤、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤** 棒状注水
- 特有の危険有害性** 火災時に刺激性もしくは有毒なフェームまたはガスを発生する。
- 特有の消火方法** 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
 移動不可能な場合、容器及び周囲の設備等に散水し、冷却する。
 着火した場合、初期消火は、火元(燃焼源)を断ち、適切な消火剤を用いて一挙に消火する。
- 消火を行う者の保護** 消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外は近づけない。
適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
作業の際には、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、必ず適切な保護具を着用し、風下で作業を行わない。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。
本製品は、水汚染物なので土壌汚染、もしくは排水溝及び排水系及び大量の水に流入することを防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

砂又は不活性吸着剤を撒いて、できるだけ掃きとり密閉できる空容器に回収し、安全な場所に移す。
回収跡は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用して作業する。
長時間または反復の暴露を避ける。
漏れ、あふれ、飛散しないように取扱い、ミスト、蒸気の発生を少なくし、換気を十分にする。

安全取扱注意事項

作業後は容器を密栓し、うがい手洗いを十分にする。
取り扱う場合は局所排気内、又は全体換気のある場所で行う。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
ミスト、蒸気、スプレー、粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
排気用の換気を行うこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
環境への放出を避けること。
眼、皮膚、衣服との接触を避ける。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。
直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。容器を密閉し、火気、熱源より遠ざける。

安全な容器包装材料

遮光した気密容器

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
アセタミプリド-d ₆			

設備対策

取扱場所での発生源の密閉化、または局所排気装置、全体換気装置の設置。取扱い場所の近くに安全シャワー、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具

保護マスク、自給式呼吸器(火災時)

手の保護具

保護手袋

眼の保護具

保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具

保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

製品として

物理的状態	液体
形状	液体
色	白色
臭い	無臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	データなし
蒸発速度	情報なし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
比重(密度)	データなし
溶解度	データなし
動粘性率	データなし

アセタミプリドとして

融点・凝固点	101.0～103.3℃
蒸気圧	<0.00000001mmHg(25℃)
溶解度	水:4200mg(l, 25℃)、アセトンに可溶。メタノール、エタノールに可溶。ジクロロメタン、クロロホルム、アセトニトリル、テトラヒドロフランに可溶。
n-オクタノール／水分分配係数	0.8(20℃)

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	酸性溶液中で安定。常温で安定。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	シアン化合物、ハロゲン化物、窒素化合物

11. 有害性情報

製品として

急性毒性	データなし
------	-------

アセタミプリドとして

急性毒性:経口	ラットを用いた2つの急性経口毒性試験で、雌雄のLD ₅₀ 値のうち低い方を取り、さらに2試験のうちの低い方の値、LD ₅₀ =146 mg/kg (農薬登録申請資料)に基づき、区分3とした。
急性毒性:経皮	ラット経皮LD ₅₀ >2000 mg/kgであり、死亡例がないとの記載(農薬登録申請資料)に基づき、区分外とした。
急性毒性:吸入(気体)	GHSの定義による固体である。
急性毒性:吸入(蒸気)	データなし
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	ラットの急性吸入試験が2試験あるが、いずれもLC ₅₀ 値を求められなかった(農薬登録申請資料)(EU Endpoints List)ため、分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験において、刺激性がないとの記載(農薬登録申請資料)に基づき、区分外とした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギを用いた眼一次刺激性試験において、刺激性がないとの記載(農薬登録申請資料)に基づき、区分外とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性: データなし。 皮膚感作性: モルモットのMaximization法で陰性との記載(農薬登録申請資料)に基づき、区分外とした。
生殖細胞変異原性	ヒト経世代疫学、経世代変異原性試験、生殖細胞in vivo変異原性試験データが無く、2つの体細胞in vivo変異原性試験(ラット骨髄細胞を用いるin vivo染色体異常試験およびマウス骨髄細胞を用いる小核試験)で、いずれも陰性であるとの記載(農薬登録申請資料)に基づき、区分外とした。
発がん性	ラットおよびマウスにおける2つの発がん性試験で、投与に関連した腫瘍の発生を認めなかったとの記載(農薬登録申請資料)に基づき、区分外とした。
生殖毒性	ラットおよびウサギを用いた2つの催奇形性試験で、いずれも催奇形性が認められなかったとの記載(農薬登録申請資料)がある。また、ラットを用いた2つの繁殖毒性試験において、親動物に一般毒性を示す用量で、児動物の体重増加抑制と肝細胞肥大が見られたが、繁殖には影響がなかったとの記載(農薬登録申請資料)(EPA FACT SHEET)があるが、児動物への影響は親動物に対する一般毒性の2次的影響と考えた。以上の情報に基づき、区分外とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットにおいて、区分1のガイダンス値範囲内の用量(300 mg/kg以下)で、振戦、うずくまり、反応性低下、側臥位、腹臥位、流涎、尿失禁、歩行失調、流涙、散瞳、間代性痙攣が見られたとの記載(農薬登録申請資料)(EU Endpoints List)に基づき、区分1(神経系)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットおよびマウスを用いた反復投与毒性試験において、区分2のガイダンス値(10-100 mg/kg)の範囲内およびそれより高用量の投与で、甲状腺重量の増加、肝臓重量の増加、肝細胞肥大、体重増加抑制、総コレステロールの増加が見られたとの記載(農薬登録申請資料)に基づき、区分2(肝臓、甲状腺)とした。
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

製品として

生態毒性	情報なし
オゾン層への有害性	データなし

アセタミプリドとして

水生環境有害性(急性)	甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC ₅₀ =77mg/L(農薬登録申請資料、1995)から、区分3とした。
水生環境有害性(長期間)	急性毒性が区分3、急速分解性および生物蓄積性が不明であるため、区分3とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明示して処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	IMOの規定に従う。
UN No.	2588
Proper Shipping Name	PESTICIDE, SOLID, TOXIC, N.O.S.
Class	6.1
Packing Group	II
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code	Not applicable

航空規制情報 ICAO/IATAの規定に従う。

UN No.	2588
Proper Shipping Name	PESTICIDE, SOLID, TOXIC, N.O.S.
Class	6.1
Packing Group	III

国内規制

陸上規制 該当しない

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

国連番号	2588
品名	その他の殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
国連分類	6.1
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当

航空規制情報 航空法の規定に従う。

国連番号	2588
品名	その他の殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
国連分類	6.1
等級	III

特別の安全対策 運搬に際しては、容器の転倒、損傷、落下、荷崩れ等しないように積み込み、漏出のないことを確認する。

緊急時応急措置指針番号 151

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	劇物(指定令第2条)
水質汚濁防止法	有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項(2)
船舶安全法	毒物類・毒物(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)
航空法	毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	危険物・毒物類(法第21条2、則第12条、昭和54告示547別表二)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4)
道路法	車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第7号・別表第2)
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)	廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
土壌汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)

16. その他の情報

参考文献	<p>国際化学物質安全性カード(ICSC)</p> <p>16313の化学商品(化学工業日報社)</p> <p>独立行政法人 製品評価技術基盤機構</p> <p>The Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH</p>
その他	<p>当該製品の化学物質製品を取り扱う事業者に対して提供するものであり、安全を保証するものではありません。</p> <p>現時点における該当化学物質の情報を全て検証しているわけではありません。</p> <p>当該化学物質について常に未知の危険性が存在するという認識で、製品運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先して使用者自己の責任においてご使用下さい。</p> <p>当該化学物質を使用する際は、使用者自ら安全情報を収集すると共に使用される場所・機関・国などの、法規制等については使用者自ら調査し最優先させていただきます。</p> <p>国または地方の規制についての調査は、当社としては行いかねますので、この問題については使用者の責任で処理願います。</p> <p>このSDSは林 純薬工業株式会社の著作物です。</p> <p>当該物質の日本語によるSDSと他国言語にて翻訳されたSDSが存在する場合、内容の相違があるなしに関わらず日本語で記述された文書が優先され他国言語による文書は参考文書とします。</p>